

これだけは知っておきたい 吉田寮基本情報

施設

文責：吉田寮自治会



新棟(西寮)

木造、鉄筋コンクリート混構造
居室44部屋、定員約90名

2015年建設

各階にトイレと水場(共同)あり

地下には炊事場とシャワー室
(10室)、ラウンジや多目的室
(会議室)などがあります。



食堂

木造、平屋建て

1889年に京都帝国大学寄宿舎食堂として建造後、1913年に現在地に移築 ※2015年に全面補修済みかつては文字通り食堂でしたが1986年以降は機能停止しています。各種イベントスペースとして使われており、学内外問わず様々な団体(バンド、演劇など)が活用する文化拠点となっています。



現棟

木造/2階建て/居室120部屋/定員約150名
1913年建築
各居住棟にトイレと炊事場(共同)あり
管理棟には受付や大部屋、共用スペースなどがあります。
中庭・畑・駐車場有
一部居室にてベット可



吉田寮の運営



寮の運営って大学がするもの？

大学ではなく寮生たちによって運営(=自治)されてるよ。



自治ってなに？

「自分たちのことは自分たちで決めて行うこと」だよ。

場に関わる当事者たちが場の在り方を決めるから、より細やかで押し付けられたルールや差別のない状態を目指すことができるよ！

吉田寮の自治で重要な点をいくつか紹介するよ～



①寮の事はみんなで話し合っていて決めているよ！

寮生の参加する会議で丁寧に議論して、寮に関する物事(プリンターを新たに買いたいとか、自治会宛てに来た取材申し込みはどう対応するかなど)を決めています。少数意見を無視することの無いよう多数決ではなく全会一致制です。時間はかかるけど、価値観や意見の異なる人たちが一緒にお互いが居心地の良い場所を作っていくのにとっても大切です。

そういう意味では、会議以外の場でも議論・話し合いを私たちは重要視しており「**話し合いの原則**」があります。「何か問題が生じた際は、対等に当事者間で話し合っ解決を図る」というものです。

そして対等に議論するために入寮時期や年齢を気にしないように「**敬語非推奨の文化**」があります。

②入寮する人も寮生が決めているよ！

入寮希望者の個々の経済・就学状況について寮生が面接して会議を経て決めています。寮自治会が入寮選考権を持つことで、入寮希望者の個別の事情に配慮した柔軟な選考が可能になります。というのも例えば保護者の年収だけで判断するような画一的な選考や、特定の思想・信条、国籍、性の在り方、在学年数、学籍種別などで排除することを無くすことができるのです。

実際に吉田寮自治会は、入寮選考対象者を「日本人男子学部学生」から「**京大に学籍を有する全ての学生及びその者と同居の切実な必要性のある人**」へと拡張してきました。

③大学経営陣とは話し合っ物事を解決してきたよ！

大学経営陣は何かと寮を自分たちの都合のいいようにしようとしてきます。そうした時に寮に関することを当事者である寮生を無視して一方的に決めさせたくはありません。ですが京大経営陣相手に一人では声を上げづらい、声が届きにくいです...

だから対等に話せるように寮自治会という形でまとまって、そして公開の場で議論して寮に関する事は合意形成してきました。(最近だと新棟建設や食堂補修ができました。)

例えば月約2500円という寮費についても、大学経営陣は事あるごとに大幅な値上げを迫っています。しかし学生の福利厚生を守るべく寮自治会が話し合いの場で働きかけてきた結果、今日まで低廉な寮費を維持してきました。寮が困窮した学生のセーフティネットとしての役割をまっとうする上でも、当事者による自治が重要なのです。